



「はいっ! 元気100%」

23P

茶畑からにぎわいを
声を想いを

15P

在宅育児手当の導入を
一般質問

8P

3月会議
スキー場債権を放棄

2P

新年度予算
老朽施設対策



子育て支援さらに



軽量ランドセル配布
108万円

デジタル活用へ



スマート農業推進
600万円

10団体共同発注で経費削減



衛星を活用した水道管路の漏水調査業務の共同発注に関する基本合意締結式

衛星活用で漏水調査
負担金400万円

令和7年

度予算

老朽施設対策

待ったなし!

お母さんに安心を



妊婦支援給付金等
741万円

防水工事



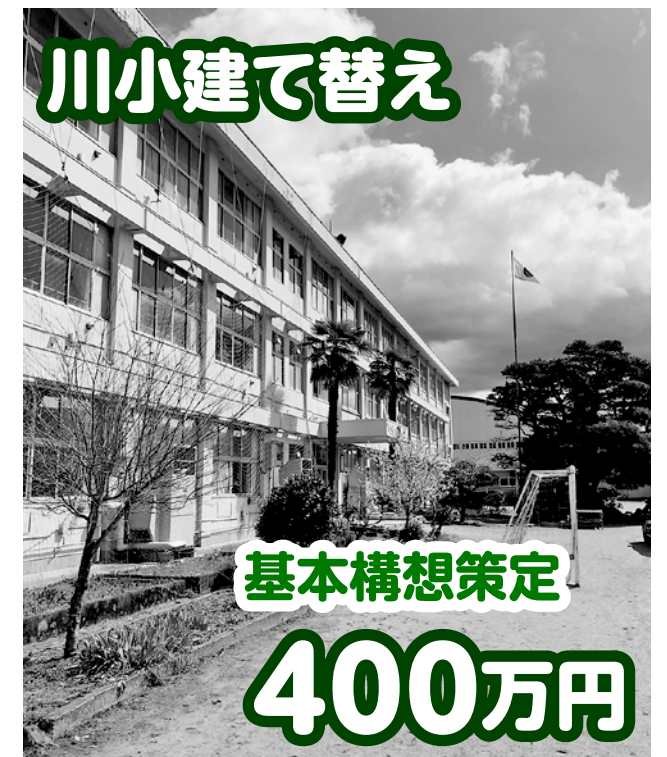
役場庁舎改修
984万円

医療環境整備へ



診療室空調更新
210万円

川小建て替え



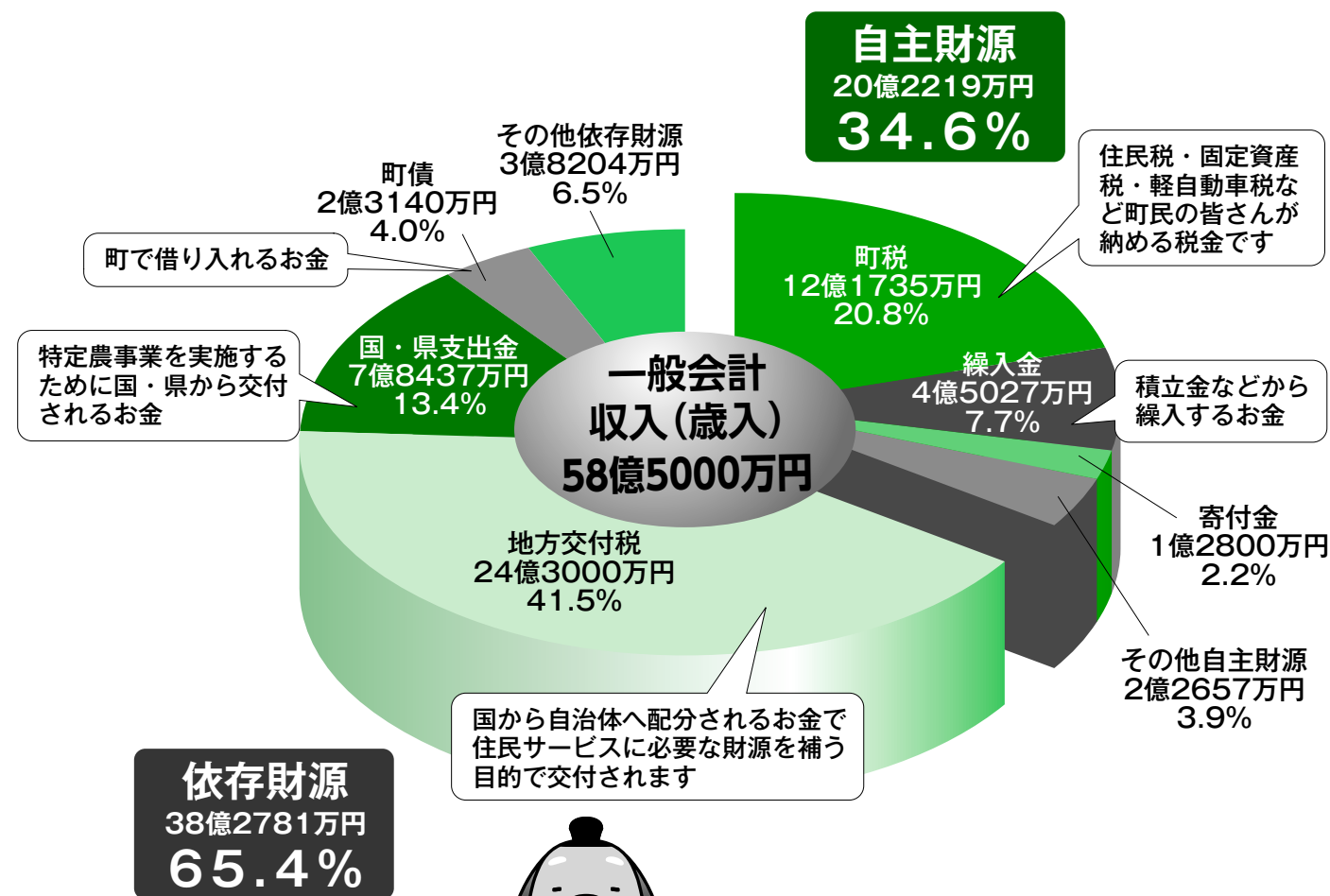
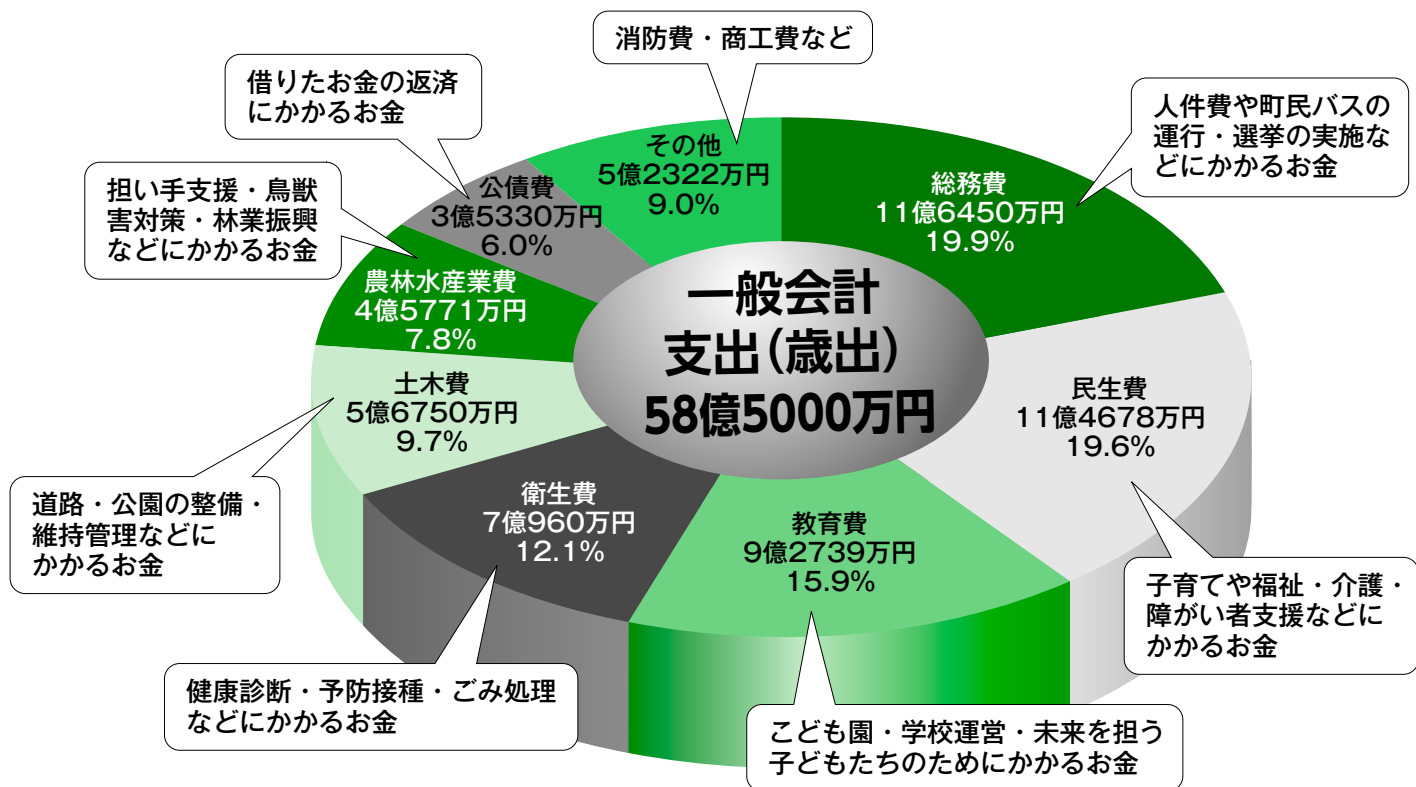
基本構想策定
400万円

3月 会議

会議は、4日から13日に開きました。
提案された議案は、権利の放棄案1件、条例改正案6件、新年度予算案8件、補正予算案7件、人事案13件、議決案2件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
ここでは新年度予算の主な内容を紹介します。

固定

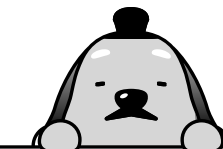
メガソーラー本格稼働等 資産税1.6億円増



令和7年度 各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計				公営事業会計		
		国民健康保険	後期高齢者医療保険	介護保険	温泉事業	病院事業	水道事業	公共下水道事業
予算額	58億5000万円	13億661万円	1億2331万円	11億7151万円	3166万円	9億2832万円	2億6751万円	5億5863万円
前年比	5億5000万円増	2810万円増	1420万円増	1247万円増	369万円増	2784万円増	1215万円増	3260万円増

※公営事業会計は3条予算の支出を記載



ポイント

- 自主財源割合は34.6%で前年度当初比2.4ポイント増
- 全会計に占める社会保障関連予算は36.6%
- 町税収入は12億1735万円で前年度当初比17.3%増
- 特別会計は一般会計とは別に特定の事業に使うため区分される会計

総括質疑

令和7年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤昭光委員を選任し、3月10日から12日にわたり審議しました。

ここでは12日の総括質疑から一部を紹介いたします。



的場要委員長 佐藤昭光副委員長

進学者を支援

佐藤昭光委員

問 新たに奨学金返還の助成制度が予定されており、今後は利用人数が増えることが予想されます。より効果的な運用になるよう一定の制限が必要になると考えますが。

生涯学習課長

答 川崎育英会の奨学金制度は、令和7年度から募集人数を高校生5名、大学生5名、最大10名を上限としています。育英会の選考委員会で選考することから、一定の制限になると考えています。

新たな移動手段を

高橋義則委員

問 3月末で町内のタクシー営業が休止となり、タクシードライバーも廃止となります。町民バスの利用向上やデマンド交通の導入など、高齢者をはじめとした移動が困難な町民を支える交通支援サービスを導入する考えは。



▲デマンド交通を導入している大河原町

答 地域振興課長
町民バス利用者のニーズに合ったバス停の設置や路線の構築など、利便性の向上に向けた取り組みを検討します。また、関係する課と連携しながら、新たな交通支援サービスを検討していきたいと考えています。

積極的なPRを

今田勝春委員

問 企業版ふるさと納税は、企業、自治体双方にメリットがある制度です。今年度は昨年度に比べて大きく伸びています。魅力的なプロジェクトの創出や情報発信を強化し、さらなる自主財源確保に取り組みべきと考えますが。

地域振興課長

答 企業版ふるさと納税のPRは、町長自らが先頭に立ち、企業とのマッチングイベントなどにも積極的に参加しています。今後は中間事業者と情報交換しながら、さらなる自主財源の確保に向けて推進していきます。



▲企業へ向けて情報発信を

新たな交通支援を

令和7年度予算

人材確保に注力を

佐藤昭光委員

問 人材確保や年齢構成など今後の影響が出ないよう対策が必要で、SNSなどの情報発信も活用して早期に取り組むべきでは。

総務課長

答 新年度の採用試験では、SNS等も最大限に活用していきます。

働く場の確保へ

佐藤清隆委員

問 民間事業者の進出に対する新たな補助金が計上されています。交流人口の増加や雇用の場の確保が期待されます。どのような事業者が予定していますか。

地域振興課長

答 新たに予算計上したローカル1000プロジェクトは、青根温泉地区に進出する飲食店1件を予定しています。

増設し抑止力を

佐藤新一郎委員

問 防犯カメラを3基設置する予算を計上しています。2月に川内地区で盗難事件が発生していることも踏まえ、補正予算対応でさらに増設し、抑止力を高める考えは。

総務課長

答 今回は県の補助金を使いながら、大河原警察署の意見を参考に必要な箇所に設置します。今後その設置した状況を検証しながら、増設が必要か検討していきます。



▲抑止力が期待される

余裕を持った給食を

佐藤清隆委員

問 学校給食は1食あたり30円値上げして計上しています。しかし、昨今の物価高騰によって非常に大きな影響があると考えられます。ギリギリの設定でなく余裕を持った対応が必要だと感じますが。

教育長

答 今後の物価動向によつては、予算の補正単価の値上げをお願いする状況も考えられます。しかし、現時点では必要なカロリー、摂取量を満たした給食を提供できると考えています。



▲物価高騰に対応した材料費を

令和6年度各種会計予算を補正

■ 提案理由
各種事業の精査に伴い各会計の予算を補正するものです。

会 計	補正額
一般会計	1億9,451万円 減
国民健康保険特別会計	2,553万円 減
後期高齢者医療保険特別会計	1,063万 増
介護保険特別会計	2,807万円 増
病院事業会計(収入)	1,560万円 増
水道事業会計(収入)	630万円 増
公共下水道事業会計(収入)	1,852万円 減
公共下水道事業会計(支出)	882万円 減



丹野 礼子 さん
(野上)

任期 令和7年7月1日から
令和10年6月30日まで
3年間

人権擁護委員(再任)



大沼 澄夫 さん
(裏丁下)

任期 令和7年4月1日から
令和11年3月31日までの
4年間

副町長(新任)

人事案件

条例改正

議員の報酬等を改正

■ 提案理由

人事院勧告に基づき報酬の額と期末手当の支給割合を改正するものです。

報 酬		
議長	4000円 増	
副議長	3000円 増	
議員	3000円 増	
期末手当		
年間3・40月分	←	年間3・45月分

農業委員11人の選任に同意

任期 令和7年4月16日から
令和10年4月15日までの3年間

- | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| ● 大 浪 阿智子 (本荒町) | ● 石 井 嘉満 (前川東部) | ● 大 宮 政光 (立野) | ● 相 澤 郁子 (野上) | ● 高 橋 繁男 (古関) | ● 岡 崎 咲子 (川内北川) | ● 小 原 学 (本砂金) | ● 佐 藤 健一 (支倉下) | ● 高 橋 裕一 (支倉下) | ● 日 下 法子 (支倉台) |
|-----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|

※順不同

セントメリースキー場貸付金 債権を放棄 1900万円



▲今後の利活用が期待される

■ 放棄の理由

- ・主債務者に支払い能力がないこと
- ・裁判所より民事執行予納金が250万円と示されたこと(増額の可能性も有り)
- ・連帯保証人が所有する不動産の評価額が競売手続費用等を下回り、債権の回収見込みがマインスになること

■ 放棄する債権の内容

- ・主債務者 株式会社ゆめらいず
- ・代表取締役 鈴木章弘
- ・連帯保証人 鈴木章弘
- ・金 額 残金1900万円及び完済に至るまでの年14・6%の割合による遅延損害金

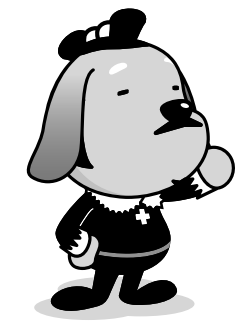
質 疑

同一人物で問題は佐藤昭光議員
問 債務者と連帯保証人が同一人物となつていますが。
答 議会では保証人に役員を充てると説明した経緯があります。しかし、保証人を短期間で見つけることもできず時間的猶予もないということを踏まえ、代表取締役を保証人ということで定めて執行したものです。

当時の信用調査は 的場要議員

問 貸し付けした当時連帯保証人は伏せられていましたが、今の説明では返済能力がないとのことです。高額な貸し付けを行う場合はしっかりと信用調査を行い、返済能力がある方を連帯保証人にするべきだと思いますが。

町 長 答 当時はこれまでの経験、地域貢献度などを尊重し、スキー場の継続を前提として指定管理を助けなければいけないというムードがありました。申し訳なかつたと反省しているところです。



以前の質問確認したい!!

追跡質問

しもとまい あさこ
下斗米 麻子 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

図書館設置に向けての進捗は

答

小学校改築に関連して進める



▲工夫あふれる紫波町図書館

他の図書館の取り組み状況を確認するため、加美町や岩手県紫波町の図書館を視察しました。設置場所も重要に

答 町長

問 6月議会で質問した町立図書館は「早急に方向性を示す」との回答をいただき、町民からも期待の声寄せられました。まだ8カ月しか経過していませんが、進捗状況を伺います。

答 生涯学習課長
図書の整理、管理は職員2名で行っています。司書の採用は今後検討していきます。

問 司書は図書の管理

を適切に行うために必要です。まずは、週に2回ほどでもいいので雇用する考えは、なることから、小学校の改築と関連して進めなければならぬと考えています。

町政を問う

一般質問

8人の議員が質問しました

●一般質問とは

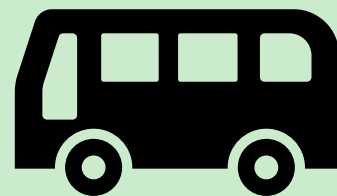
町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

ページ	質問議員	質問内容
12	佐藤 昭光 議員	(1) 人口減社会へ (2) マイナンバーカード一本化
13	佐藤 清隆 議員	(1) 郵便局活用した行政サービス
14	下斗米麻子 議員	(1) 带状疱疹ワクチンの助成
15	大本 治久 議員	(1) 在宅育児手当の導入を
16	遠藤 雅信 議員	(1) 樺沢用水路の維持管理
17	的場 要 議員	(1) ふるさと納税の拡充 (2) スーパー閉店に伴う対応
18	高橋 義則 議員	(1) 町民バスから発展を (2) 今後の地域計画策定
19	佐々木昭雄 議員	(1) 町民の足の確保 (2) かわさきわくわくの日の設定 (3) アラバキのおもてなし対応

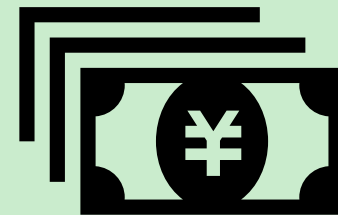
要望決議

予算特別委員会・総括質疑の中から重要な項目を議発案として取り上げ、要望決議として提出します。

タクシー利用助成事業が令和6年度末で終了となります。町民バスの利便性向上やデマンド交通導入など、高齢者をはじめとした移動が困難な町民を支える交通支援サービス導入を検討してください。



企業版ふるさと納税は企業側にも自治体側にもメリットがある制度ですが、今年度は昨年度に比べ大きく伸びています。魅力的なプロジェクトの創出や情報発信を強化し、さらなる自主財源確保に取り組んでください。



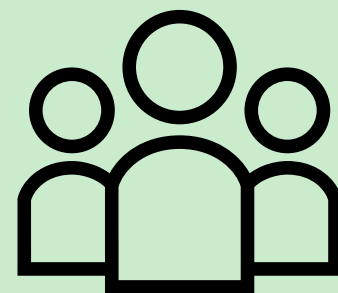
学校給食は、1食あたり30円の値上げして計上されています。しかし、昨今の材料費高騰など非常に大きな影響が考えられます。安心安全で美味しい給食を提供していくためには、余裕を持った単価設定に努めてください。



部活動の地域移行は全国的な課題となっています。先進事例も参考にしながら、当町の状況や運動環境に馴染むような競技・種目や人材確保を推進してください。



行政職・技術職共に、人材確保や年齢構成など今後の運営に影響が出ないよう早期の対策が必要と考えます。これまでの一般的な案内に加え、SNS等を活用した情報発信にも取り組んでください。



雇用の創出には継続的な取り組みが必要不可欠です。企業誘致や起業支援等の民間活力の創出へ国庫補助金の提案も含め、積極的な各種相談ができる体制づくりに努めてください。





さとう しょうこう 議員
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲往年のにぎわいを

問

マイナ保険証情報漏れは

答

同意しない方法も

問 マイナ保険証で病歴等の情報漏れを心配する声がありますが。

答 町長

本人が同意した場合に限り、診療履歴や薬の情報を医師や薬剤師などで共有することができません。情報共有が不安な方は、同意せず

問 不安の声やトラブルの報告はありますか。また、入所施設などでの管理は。

答 町長

保健福祉課へ寄せられていた不安の声やトラブルはありません。施設などで管理する場合は、管理方法等の周知と情報共有を図っています。

問 マイナ保険証の利用登録を解除した人はいますか。

答 保健福祉課長

1月末現在で、高齢者の方1人が利用登録を解除しています。

※構造的に深刻な自治体…死者数が出生数を上回る自然減と、転出者数が転入者数を上回る社会減の双方で、喫緊の対策が求められる自治体。

問

人口減対策に広く知恵を

答

若者の意見を反映

昨年新聞で報道された消滅可能性のある県内19市町のうち、「構造的に深刻な自治体※」に唯一当町が該当しました。町内でも大変な衝撃が走りまわりました。

問 町の広報紙で「当町は消滅しない」と議論した根拠は。

答 町長

2050年に人口は4525人まで減るとの予測ですが、夢と希望を持って生活できる町政運営に努める思いを込めました。

問 町長就任以来12年間で人口は1825人減り、その後も加速状態にあります。原因をどう見えていますか。

答 町長

さまざまな事情があり、結果として減少していると考えています。

問 子育て支援の充実を訴えていますが、有効ではなかったのでは。

答 町長

当町の子育て支援は県内屈指であると自認しています。不足があると感じれば検討していきたいと思っています。



▲その都度選択できます

問

郵便局の窓口活用を

答

現段階で考えていない

総務省では身近な拠点として、郵便局を活用する動きがあり、さまざまなサービスを展開しています。近隣の自治体でも既に一部の事務を委託しており、補完的な役割を担うことで利便性向上につながると思います。

問 今までどんな連携を行ってきましたか。

答 町長

令和2年に日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定書を締結しました。防災と災害時の対応、道路損傷等や不法投棄の情報提供、地域の見守り活動など、地域の活性化等に取り組んでいます。

問 マイナンバーカードが発行され、更新は5年ごとに、写真の撮り直しは10年ごとになります。こうした新たな業務が発生したタイミングで、委託なども含め検討すべきでは。

答 町民生活課長

マイナンバーの更新業務等は郵便局内で完結できず、当課とのデータのやり取りが必要となり、時間がかかる場合も想定されます。内部で検討した結果、そこまで必要ではないと結論になりました。



▲身近な拠点として活用

問 各種証明書の発行は、「コンビニ端末」で発行できるのが、利便性が良く一番だと思います。ランニングコストなどの負担は大きいようですが、郵便局を活用すればコストも抑えられます。検討すべきと思いますが。

答 町長

状況の変化を確認しつつ、コスト面での優位性など確認し、改めて検討していきます。

問 人口減少、過疎化が進むなか、これまでと同様の行政サービスを持続していけば、将来的にお金と人材が不足することが懸念されます。任せるものは任せて、先を見据えて今から取り組むべきだと思いますが。

答 町長

人口減少のなかで適応していくことが一番大切なことだと思っています。職員も限られていますので、事業の縮小も視野に入れながら、考えていきたいと思っています。



さとう きよたか 議員
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから



おおもと はるひさ
大本 治久 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲子育ては毎日が全力

問 保育や介護には支援が進む一方で、在宅で乳児を育てる親への支援は十分とはいえない。育児の負担軽減のため、在宅育児を選んだ家庭への支援が必要では。

答 町長 在宅で子育てしている家庭への支援は、反省すべき点もあると受け止めています。今後はしっかりとサポートしていきます。

問 近年、日本の子育て支援は共働き家庭を中心に制度整備が進められてきました。しかし、在宅育児を選択する家庭への経済的支援は依然として限定的です。自治体が独自に在宅育児支援を講じることが求められています。

答 町長 少子化対策としても、共働き世帯中心の支援だけでなく、専業主婦を含む在宅育児家庭への経済的支援が必要だと考えます。在宅育児手当を導入する考えは。

問 近年、若年層の貧困が社会問題にもなっています。在宅育児の不安を軽減する一助になると思いますが、導入している自治体の取り組みを調査し、町独自の政策が実施できるよう検討します。

問 かわさきこども園への入所時期は、保護者の就職や職場復帰に伴う在宅育児からの切り替えと密接に関連しています。子どもたちが入所可能な時期と在宅育児家庭の割合は。



▲かけがえのない育児の時間

問 在宅育児手当の導入を

答 独自政策実施を目指す

問 今後の具体的な計画は

答 50歳以上に引き下げ実施

国政により带状疱疹の定期接種が実施されることになりました。施政方針でも示されましたが、当町ではそれに合わせて、多くの町民から要望のあった対象年齢の引き下げを実施します。

問 当町では、令和4年度から県内で一番早くワクチン接種助成事業を実施しています。これまでの助成の実施状況を伺います。

問 令和7年4月から国の費用助成が始まるのを機に、当町では接種対象年齢を大幅に引き下げることにしました。今後の接種想定人数や具体的な計画は。

答 町長 更なる発症予防と神経痛などの合併症予防の取り組みを推進するため、対象者を令和7年度より「50歳以上」に引き下げます。接種人数は150人前後を見込んでいます。チラシの全戸配布や広報紙などで周知します。



▲いつまでも健康で生涯現役

問 助成対象となっているワクチンには、「ビケン」と「シングリックス」の2種類があります。助成開始からこれまでの接種比率は。

答 保健福祉課長 令和4年から7年1月までの接種比率は、1回接種で効果年数が5年から7年の「ビケン」が45%、2回接種で効果年数が11年以上の「シングリックス」が55%となっています。



▲忘れずにご予約を



しもと まい あさこ
下斗米 麻子 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから



ま と ば かなめ
的 場 要 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲寄付増額に期待

問 スーパー閉店の対応策は

答 利用者のニーズを確認

問 当町の中心部にあるスーパーが、事業譲渡により2月24日で閉店することになりました。官民連携で早期の対応策が必要であると考えますが。

答 町 長 商工会等と意見交換をしながら対策を検討してきました。まずは交通弱者への買物支援バスを試験的に運行し、利用者数の把握と町民のニーズを確認すべきものと考えています。

ふるさと納税は全国的に11月、12月の寄附が全体の3割を占める傾向です。当町ではふるさと納税の拡充に向け、年末に首都圏をターゲットとした新聞広告を出し、魅力の発信を行ってきました。

問 当町が業務委託している11サイトのうち6つのサイトでは、ワンストップ特例制度のオンライン申請ができない状況です。令和8年に導入予定とのことですが、早期導入する考えは。

答 町 長 利便性の向上による寄附額の増額と事務処理の軽減を図るためにも、必要であると捉えています。早々にサービス提供業者との協議を行い、導入に向けて取り組んでいきます。

答 地域振興課長 オンライン申請の有無で受け入れにも差があると捉えています。寄附していただく方の利便性の向上、寄附額の増額ということを踏まえ、4月早々に協議を進めていきます。

問 早期にオンライン申請を 答 提携業者と協議を進める

問 新年度の早い段階で、年末の駆け込み需要に間に合うように導入していただきたいと思いますが、その可能性は。

問 用水路管理の在り方は

答 地域組織で担っていく

櫛沢用水は町内の広範囲な農地に水を供給する農業用水であり、その一部は野上浄水場の原水として利用されています。

答 町 長 土砂の撤去は状況を見ながら対応することとし、水道担当職員により定期的に巡視を行ってきたところです。早期に櫛沢用水組合の方々と現地を確認し、適宜対応したいと考えています。

答 町 長 これまでも必要に応じて取水堰付近に堆積した土砂の撤去を行っています。櫛沢用水路は飲み水を供給する重要な水路です。引き続き点検するとともに、維持管理を担っている櫛沢用水組合と連携を密にしています。



▲農作業に影響がないように

問 用水路の維持管理の在り方、それに関わる人員が不足しているとも聞いています。水利組合と町側とで、課題解決に向けた話し合いをしたことはありますか。

答 町 長 多面的機能支払交付金を活用して、農地や水路、農道などを地域で保全・管理する組織が設立し、4月から活動を開始します。今後は、この組織で用水路の維持管理も担う計画ですので、意見交換を続けていきます。



▲現地確認で適切に対応を



えんどう まさのぶ
遠 藤 雅 信 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 用水路の開渠部分や水が流れるヒューム管の中に砂利などが堆積しているため、水が流れにくく、あふれる恐れもあります。取り除くべきではないでしょうか。

問 取水堰が詰まれば農地や上水道施設に多大な影響が生じます。そうならないよう、県や水利組合と協議して対策すべきではないでしょうか。



たかはし よしのり 議員
高橋 義則



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

新たにデマンド交通を

答

ニーズに即した公共交通に

施政方針のなかで、町民バスは「安心安全な運行と利用者のニーズに合わせながら、地域公共交通の向上に努めていきたい」と述べています。

問 高齢化で免許返納する方が多くなり、買い物など足の確保が困難になると思います。新たにデマンド交通で町民の公共交通を早期に考えるべきでは。

答 町長 現在、デマンド交通を導入している市町村の情報を収集しています。町民バスの利用状況などを確認しながら、先行きを見据えて、町民のニーズに合った交通体系にしていかなければならないと思っています。



▲交通体系を見直す時期に

問 デマンド交通を調査中とのことですが、現状は。

答 地域振興課長 町民バスや福祉、学校関係も含めて、将来の交通体系を考えていかなければならないと思っています。県内の自治体にも話を聞いてきましたので、利用状況を加味しながら町にとって一番いい手法を検討していきます。

問

龍雲寺前基盤整備は

答

優良農地であり実行したい

問 農地利用の姿を明確化する地域計画は、3月末まで策定することとなっています。策定にあたり、どのような問題がありますか。

答 町長 町内6地区で意見交換会を開催してきました。担い手がおらず耕作者が定まらない農地や、耕作者が意見交換会に参加しないなどの課題が出ています。

問 長年の懸案である龍雲寺前基盤整備は、食料自給率向上や担い手確保のためにも必要と考えますが。

答 町長 龍雲寺前は町内でも平坦な優良農地であり、これまで圃場整備が望まれてきた地域です。実行したいと考えています。



▲着々と進む小沢地区圃場整備

※デマンド交通…事前予約制で利用者に応じて時刻や経路が変わる、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関。

問

「わくわくの日」設定を

答

関係者と意見交換も

福島県川俣町では青少年が健やかに成長することを願う「友♡ゆう♡の日」を制定しています。条例に「♡」がつくことでも話題になりました。当町でも何かわくわくするものがないのかと考えています。

問 かわさきの「か」を9月、「わ」をわくわく、「さ」をさ日、「き」を9日という語呂合わせで、9月3日から9日の1週間で「かわさきわくわくの日」と定め、笑顔になれるような期間を設定しては。

答 町長 2020年に一般社団法人日本記念日協会が「わくわくの日」を認定登録しています。この話題を広報紙で紹介しながら情報発信し、反応を見たいと考えています。

問 その週は家族で美味しいものを食べに行き、離れて暮らす孫が遊びに来るなど、笑顔になるような。また、町内の店舗では負担にならない程度のサービスをして勝手に盛り上げる企画は。

答 町長 商工会会員の皆さまが連携しながら買い物イベントなどを開催していますので、意見交換していきたいと思います。

問

アラバキでおもてなし

答

協力を得ながら実施

問 アラバキは東北最大級のロックフェスとして定着してきました。公園入口付近を雑草やゴミのないきれいな歩道にして、お客さまに提供する「おもてなし」だと捉え、1週間前ごろにみんなで取り組む考えは。

答 町長 「アラバキ川崎町」が定着しつつあります。町のイメージアップにつながるおもてなし対応は担当職員が中心となり、観光協会等の協力を得ながら実施したいと考えています。



▲きれいな歩道でおもてなし

問

町民の足の確保は

答

買い物支援バスで確認

その他の質問事項



ささき あきひろ 議員
佐々木 昭雄



質問・答弁の動画は
←こちらから

総務民生常任委員会

調査日 2月10日

防犯対策の取り組み

調査事項①

環境整備で安心安全を

【調査結果概要】

全国的な傾向として、令和5年度の犯罪状況は刑法犯・特殊詐欺ともに前年より増加しています。6年度の町内の刑法犯認知件数は、凶悪犯・粗暴犯の発生

件数は少ない状況ですが、窃盗犯は9件発生しています。防犯対策としては、防犯指導隊によるパトロールや特殊詐欺対策電話機等購入補助金、子ども・高齢者への防犯教育、犯罪が起きに



▲防犯対策にカメラを

【委員会意見】

犯罪を未然に防ぐには、さまざまな防犯対策や取り組みが必要で、特殊詐欺対策電話機等購入補助金は、5000円を上限として購入費の2分の1を補助しています。令和5年度は15人、6年度は1月末現在で13人、合計13万9600円を交付しています。架空請求詐欺等の防止のため、引き続き周知を行ってください。防犯灯の整備や関係各所から要望のあった防犯カメラ設置は、安心安全を感じられる生活環境整備を目的に検討してください。

町民バスの現状

調査事項②

新たな移動手段を

【調査結果概要】

地域公共交通の確保と町民の福祉向上を図るため、平成13年4月までは患者輸送車を、それ以降は、かわさき町民バスを運行しています。町民バスは運行

開始から23年が経過しています。平成18年度までは7万人を超える利用がありましたが、それ以降は徐々に減少しています。令和5年度の利用者は2万6999人で、ピーク時に比べ3分の



▲交通弱者のために

【委員会意見】

利用者の減少は、人口減少や小学校閉校に伴うスクールバス導入も影響があったと考えられます。昨年、当課では全路線乗車調査を実施し、運行経路、各停留所の乗降状況、運転手から利用状況の確認をしています。今後、小中学校の統廃合も検討されていることから、路線の見直しやダイヤ改正も検討してください。また、民間タクシー事業休止の影響も考えられますので、交通弱者向けの移動手段として、デマンド交通等の導入も調査検討してください。

産業建設教育常任委員会

調査日 2月12日

町道の整備状況

調査事項①

計画的な維持管理を

【調査結果概要】

町道の整備は、既設道路の維持補修事業を重点的に進めており、道路施設や舗装などの損傷状況を調査しながら維持管理を行っています。

橋梁やトンネルの整備は、健全度を保つために必要な維持補修工事、定期点検と長寿命化計画に基づき計画的に実施しています。これらの工事で、安全で安心な交通網の確保と維持に取り組んでいます。



▲安全な通行のためにも

【委員会意見】

道路の維持は、交通安全・交通渋滞・沿道環境等の基本的課題を考慮しながら計画的に整備し、安全で快適な道路環境となるよう努めてください。橋梁やトンネルは点検結果を整理し、これまでの事後的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、維持管理を効率的に行ってください。除雪対策は、正確な気象情報の収集や迅速な連絡体制の整備が重要となることから、万全な体制で対応してください。

文化財等の状況

調査事項②

理解を深め啓発を

【調査結果概要】

当町の指定文化財は、国指定の「滝前不動のフジ」など複数の天然記念物があり、町指定の無形民俗文化財として「宮城蔵王支倉豊年踊り」や「川崎神明神楽」

などがあります。また、国登録有形文化財には「青根温泉の不忘閣と岡崎旅館の建造物」が登録されており、数多く点在している遺跡等を含めて、保存・活用等に取り組んでいます。特に5つの城跡と7



▲故きを温ね新しきを知る

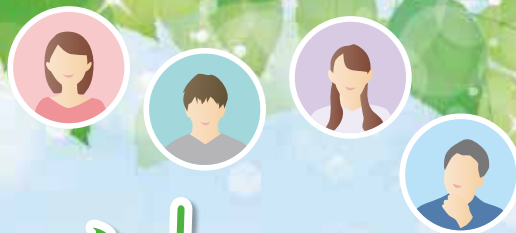
【委員会意見】

文化財は地域の歴史や文化等を正しく理解するために欠くことのできないものです。その保護と活用は、優れた文化の創造と発展の基礎となることから、今後も文化財への理解を深め、啓発に努めてください。また、価値の認識と保護意識の向

上には人材の育成と活用が不可欠ですので、人材確保に向けた取り組みを進めてください。なお、民間所有の文化財もあることから、所有者、地域、関係機関と協力体制を築きながら保護に努め、後世に伝えていくよう望みます。

みなさんの

「声も想いも」聴かせて



今回は「NPO法人川崎町学校サポートネットワーク」の皆さまからご意見を伺いました。



▲茶畑からにぎわいを

まちづくり・地域の活性化
学校ボランティアや地域交流会を通じて、学校と地域のつながりを。

マイスター制度を設け、町の魅力を語れる案内人の育成を。
町の魅力をアピールするために文化遺産を紹介する施設が必要。

まちづくり・地域の活性化

協力隊が起業にチャレンジできる環境をさらに強化してみても。
農産物販売やカフェ運営の拠点のため、小さな商業施設を設置。小規模店舗の集積でにぎわいを創出。

町や議会に望むこと

地元野菜や山菜、キノコの6次産業化に挑戦できる環境づくり。
NPOセンターの設置。NPO活動の拠点を作り、町内外の人が関われる場所を提供できないか。



今回いただいた貴重なご意見・ご要望は、町政へ反映できるよう尽力いたします。

◆NPO法人学校サポートネットワーク

少子高齢化や人口減少などの課題に地域住民の力で取り組むため、2008年に発足。地域に根ざしたまちづくりや学校支援、地域資源の活用、10年かけて茶畑を再生するなど地域の魅力づくりにも力を注いでいます。



左から丹野陽子さん(野上)、山崎杏美さん(裏丁下)
丹野恵次さん(川内一)

町村議会 広報クリニック (2/13 東京都)

テーマ

「AI時代の文章」

研修 レポート

報告の一部を紹介します

仙南・亘理地方 町議会議員合同研修会 (1/30 蔵王町)

テーマ

「一般質問の共有が未来を拓く!」

データ集約で効率化

佐藤昭光 議員

講師は県内市町村議会の一般質問一覧をデータ化しました。これによって各自治体の課題を住民や議員同士で共有し、深化することが可能になったといえます。また、AIを効率的に活用して議員活動に生かしています。一般質問回答書の配布方法も自治体によって

自分で調べる大切さ

大本治久 議員

インターネットや生成AIの活用は、効率的・効果的に情報を検索でき、一般質問案も簡単に作成できることを学びました。

しかし、ネット検索や生成AIの情報がすべて正しいとは限りませんし、AIには感情がありません。人間には感情、意識があり、判断や意思決定に影響を与えます。改めて、自分の足で調べることの大切さを感じる研修となりました。

文章作成をサポート

佐藤清隆 議員

AIの技術は急速に進んでいます。AIには「文書」は書いても「文章」は書けないという明確な定義を知りました。読み手に伝わる文章を作る力は人間にしかできない大切な役割だと感じました。

「心」を届ける仕事

下斗米麻子 議員

豊富な経験と知識に基づいた分かりやすいお話を聞くことができました。広報紙の根幹である「内容をシンプルにし、硬い内容を軽やかに伝える」ための

具体的なテクニックは、今後の編集作業に役立ちそうです。
AIには感情や思考を表現する「文章」が書けないという話が、とても印象的でした。皆さまに「心」を届けるという、人間らしい仕事ができるよう頑張りたいと思います。

視察受け入れ

かねやままち

山形県金山町議会様

2月19日に金山町議会の皆さんが、当町議会を導入している「通年議会」を研修するために来町されました。よりよい議会運営のために、活発な意見交換が行われました。



お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は6月10日(火)~13日(金)
一般質問は6月11日(水)・12日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は3月会議8人、ライブ中継は299アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL(0224)84-2301

掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

町の風景



撮影場所:釜房ダム管理所

撮影:広報モニター 佐々木和人さん

表紙の説明「はいっ! 元気100%」

川崎小学校入学式にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん

議会映像配信



議会の様子をご覧ください。



発行:川崎町議会
編集:議会広聴・広報委員会

〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1
TEL(0224)84-2301・FAX84-6789
E-mail:kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷:株式会社津田印刷